

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

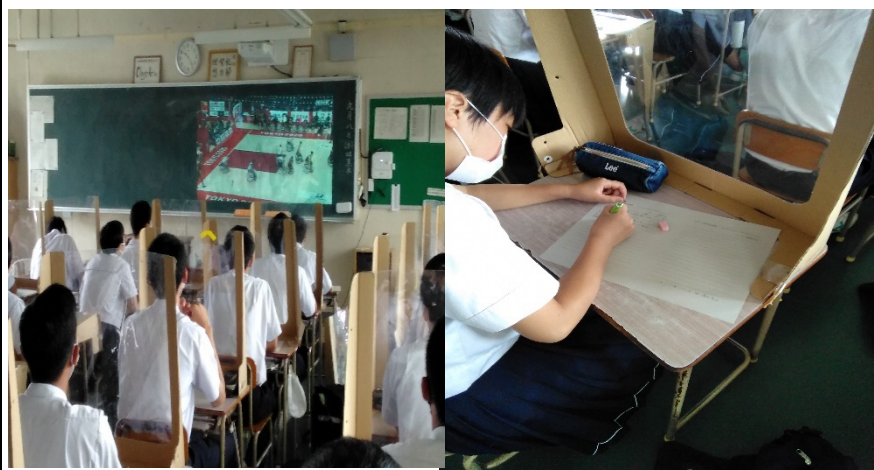
- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 福岡県立直方高等学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	福岡県立直方高等学校 1, 2, 3学年 スポーツ科学コース 生徒 104名 教職員 5名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育(スポーツ医科学演習)) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	東京オリンピック・パラリンピックの実際の試合を見ることで、種目だけでなく各国の選手にも興味・関心をもち、大会を通じてオリンピック・パラリンピックの価値を考えることができる。
5 取組内容	○事前学習 1年時にパラリンピックの調べ学習を行った。 ・オリンピック・パラリンピックの歴史について ・オリンピック・パラリンピック競技や追加種目について ・パラリンピックの価値 ・パラリンピック日本人選手について ○東京オリンピック・パラリンピックの視聴と感想文の作成





○感想

- ・「オリンピック・パラリンピックで、国民にたくさんの感動や勇気を与えたと思います。自分もそんな風に何かを与えられる人間になりたいです。」
- ・「選手の『自分1人ではここに来ることはできなかった。関わってくれたすべての人に感謝』という言葉に、感謝の気持ちを持ち続ける選手の言葉が心に残った。」
- ・「たくさんの競技があることを知り、選手の姿を見てたくさんの場面で心打たれた。自分も感動や勇気を与えられる人になりたい。選手の努力に感動した。」
- ・「きつい状況の中、必死に前向きに戦っている選手がかっこよかった。」

<p>6 主な成果</p>	<p>オリンピック・パラリンピックの視聴をし、今回のパラリンピックの視聴は生徒にとって、関心が高まり、刺激になったように感じる。改めてパラリンピック選手への尊敬や素晴らしさを感じることができていた。 今年、コロナウイルスにより開催に対する意見を聞くことができ、大会運営についても考えることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>スポーツ科学コースは全員が部活動に入っているため、各部活動と同じ種目も見せることで、パラリンピック選手のすごさを実感させることができた。 パラリンピックが閉会式を迎えてすぐに今回の取り組みを実施することができたため、記憶にも新しく、関心を持たせることができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>昨年は調べ学習を進め、今年は実際の映像を視聴することはできたが、種目を実施するというには至らなかったため、実施ができるよう場所や取り組み方を工夫する必要がある。 生徒の視聴率を考えてもパラリンピックよりもオリンピックの方が興味関心が高いので、もっとパラリンピックにも興味を示すよう指導の工夫が必要であると感じた。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>検討中</p>

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 福岡県立直方高等学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	福岡県立直方高等学校 全校生徒 生徒 442名 教職員 36名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (直高オリンピック2021) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピック競技を体験することにより、それぞれの種目の特性や行い方についての理解を深める。また、競技運営や支えることの大切さを知り、スポーツを楽しむ心を育成する。
5 取組内容	○日時：令和3年10月25日、11月5日 ○場所：体育館、グラウンド、講堂 ○実施競技 ・バレーボール、卓球、バドミントン、ソフトボール、ハンドボール、ボッチャ ○各競技の説明 ・ルール、特性について ・実施方法について ・審判の仕方について ・会場準備





<p>6 主な成果</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピックが終わってからの実施ということで、オリンピック・パラリンピックの興味関心や意識を高めた上で実施することができた。運営についても、生徒が主体となり行うことで、スポーツを支える側の役割や重要性についても理解を深めることができ、スポーツを楽しむ心を育成することができたように感じる。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピックの大会を事前に視聴させることにより、興味関心を高めた上で実施させることができた。「する」だけでなく、「みる」「支える」ことも経験させることにより、支える側の重要性についても伝えることができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>大半の生徒は積極的に取り組む姿勢が見られたが、スポーツを苦手とする生徒に対して、取り組む姿勢やルールの理解などを深めさせるための工夫が必要であると感じた。また、運営をする「支える」については、全生徒が支える側の経験ができたわけではないので、重要性の理解とともに支えることの経験も全員ができるように取り組んでいきたい。</p>
<p>9来年度以降の 実施予定</p>	<p>検討中</p>